

光陽の里四季だより

10月19日

「第3回草刈り、収穫祭前に」

平成26年10月19日 今年の夏は短かかったのですが、草の伸びは例年と変わらず盛んです。

第3回目の草刈りです。翌週の収穫祭にお客さんを快く迎えるために綺麗にしましょう。

収穫祭

10月26日(日)

12時〜

いよいよ今年もお楽しみみの収穫祭が始まります。大勢のお客さんをお迎えし、畑の仲間と一緒に畑の恵みに感謝して、楽しいひとときとしましょう。出店、募集中です。

恒例のビンゴ大会の景品も募集しています。

時の寿の森倶楽部から

8月に森の駅に、作業小屋兼図書館となる、会員手作りの小屋が完成し、夏まつりにミニコンサートを開いた「時の寿の森倶楽部」。

5匹の山羊が仲間に加わり、山羊の小屋の壁に山羊の餌となる植物と相性の良くない植物の絵が張り出され、途中の道で餌となる葛の葉をかり集めながら、森の駅に来る会員山羊の世話に手間多くなりそうだが、そのミルクとチーズが新しい売り物になりそうである。



仲間に愛されている山羊さん

倶楽部の活発な活動を耳にした川勝知事が、9月2日時の寿の森を視察にいらつしやるということで、時の寿の森倶楽部会員一同、午後1時30分に森の駅入り口の駐車場へ揃って出迎えをした。

知事は時の寿の森の施設を見学、松浦理事長の説明を聞き、その後新しくできた作業小屋兼図書館で会員の要望事項に耳を貸した。



写真は川勝知事(右)に活動の説明をする松浦理事長(左)

時の寿の森倶楽部は森の再生、花の村は里山の再生、お互いに切磋琢磨して頑張りましょう、といった所ではあるが、時の寿の森倶楽部のパワーには目を見張るものがある。花の村の創始者故宮城正雄氏の志の大きさは、時の寿の森倶楽部の志に匹敵するものがあり、我が花の村は宮城さんの志を忘れることなく、彼らの手法をも参考にしながら、この10年を節目として、若返りを図らなければならない。

倶楽部図書室訪問の川勝知事

